

平成28年度 地方創生加速化交付金(2次募集)に係る事業実施結果報告

(交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要等	③ 実施内容	④ 事業費 単位:円	⑤ 総合戦略 該当ページ	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑦ 本事業終了後における実績値		⑧ 外部有識者からの評価		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		
						指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	武蔵村山の魅力づくり推進事業～魅力教え隊及び魅力マイスター制度の整備～	市の魅力をSNS等で発信する「魅力教え隊」制度に加え、市の伝統文化の技をもつ人等を「魅力マイスター」として認定する制度を新設し、市の魅力を広く発信することで、来訪者の増加、ひいては市内経済の活性化につなげる。	武蔵村山の魅力づくり推進事業委託 ①専用ホームページ制作・運営 http://musashimurayama-miryoku.com/ ②ニーズ調査 ③魅力教え隊及び魅力マイスター制度の広報PR(専用ロゴ、オリジナルキャラクター制作など) ④魅力マイスターの募集・認定 ⑤モニターツアーの企画・実施・広報 ⑥研修会の実施(SNS情報発信講座)	11,680,000	P44、49	指標①	民間消費における支出流出入率順位(平成22年:1,642位)	1,500	位	H29.3	1,313 ※平成28年	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・事業自体は効果的なものであったかもしれないが、平成28年度の実施ですぐに結果は出るものではなく、設定されているKPIだけでは事業の評価がしづらい。 ・モニターツアーの参加者にSNSでの発信をもっと呼びかけた方がよい。 ・ツアーアンケート調査項目の見直しが必要である。 ・事業全体として、既存の地域資源を活用しているものであり、目新しさに欠けるので、また違った切り口から市の魅力が出せるとよい。 ・トレンドに乗った発信力のある人に市の魅力を発信してもらうことも重要である。 ・専用ホームページを今後うまく活用してほしい。 	事業の継続	平成28年度の事業実施により、魅力発信や地域資源の活用の基盤づくりができた。事業継続により、本市の知名度の向上、新たな地域資源の発掘・発信による来訪者の増加を図る。平成29年度は地方創生推進交付金を活用し、事業実施予定である。
指標②	「魅力教え隊」発信の情報による来訪率(現況値:—)	5	%	H29.3	16.2 ※平成28年度実施モニターツアーアンケートで、知人の紹介・口コミによって情報を知ったと回答した人数の割合											
指標③	市外からの休日の滞在人口5年間で5%増(平成26年:17,383人)	17,731	人	H29.3	17,193 ※平成28年1月～8月の平均値											

※「⑦本事業終了後における実績値」の事業効果について、①本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなどの場合)、②本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成したなどの場合)、③本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合)、④本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合)を基準としている。